

薬剤在庫管理ソフト インストール・バージョンアップ 手順書

第 13 版

(社) 日本医師会

改訂履歴

初版	2004 年 1 月 19 日	新規作成
2 版	2004 年 2 月 2 日	記述の修正
3 版	2004 年 3 月 5 日	設定ファイルの修正 フォントの設定を追加
4 版	2004 年 6 月 16 日	バージョンアップ手順の追加
ver03.00 版	2004 年 10 月 12 日	バージョンアップに伴う修正
ver03.04 版	2005 年 1 月 16 日	記述の修正 FAQ を追加
ver03.06 版	2005 年 2 月 8 日	記述の修正
ver03.10 版	2005 年 5 月 10 日	FAQ に ATOK の項目を追加
	2005 年 7 月 13 日	リソースファイルの項目を追加修正
	2005 年 11 月 21 日	リソースファイルの項目を修正 実行シェルの修正を追加 ソフトの入れ替えを修正
第 6 版	2006 年 9 月 29 日	全面改訂 sarge 対応
ver03.15	2007 年 12 月 13 日	OrcaDB4.0 に対応 Etch 対応
第 7 版	2008 年 5 月 22 日	バージョンアップ手順を修正
第 8 版	2009 年 2 月 6 日	DB バージョンアップ手順を修正
第 9 版	2009 年 5 月 22 日	Ubuntu Hadry 対応
ver03.26	2010 年 7 月 23 日	テスト患者取り込み設定を追加
第 10 版	2010 年 8 月 25 日	Ubuntu Lucid 対応
第 11 版 ver03.30	2012 年 1 月 27 日	コンパイル対象を JDK1.4 から JDK1.5 に変更 拡張漢字対応への DB アップグレード記述
第 12 版 ver03.31	2012 年 10 月 12 日	Ubuntu Precise 対応
第 13 版	2014 年 11 月 27 日	Ubuntu Trusty 対応

目次

はじめに	4
システム概要	4
諸注意	5
作業ユーザ	5
コマンド	5
圧縮ファイルの内容	6
設定ファイルの内容	7
日レセ接続ユーザ名	9
拡張漢字対応(DB UTF-8)	9
インストール手順	10
Java のインストール	10
リソースファイルのコピー・展開	10
stock ユーザ・DB の作成(サーバ&バックアップ)	11
stock ユーザを追加	11
postgres ユーザに、stock ユーザを追加	12
stock 用の DB を作成	12
初期データ入れ込み(サーバ&バックアップマシン)	13
設定ファイルの編集	13
PostgreSQL の設定	14
orcaDB にパスワードを設定	14
PostgreSQL の設定変更	14
実行シェルスクリプトの修正	15
動作確認	15
起動ボタンの作成	15
バージョンアップ手順	16
DB のバックアップ	16
設定ファイルのバックアップ	16
ソフトの入れ替え	16
DB のバージョンアップ	17
DB の拡張漢字対応[UTF8]	18
初期 DB	18
エンコーディング変更	18
設定ファイルの変更	19
実行シェルスクリプトの修正	19
動作確認	19
旧バージョンの復旧	20
FAQ	21
Q1. ソフトを起動しても、ウィンドウが表示されない	21
Q2. ソフトの操作中に、小さなウィンドウが表示される	21
Q3. アイコンをクリックしてもソフトが起動しない	22
Q4. 文字が正常に表示されない	22
Q5. 一部画面の描画がおかしい	22

はじめに

薬剤在庫管理ソフト(以下、本ソフトとします)は、日々の薬剤移動(伝票内容や部門出庫など)を入力することによって、日医標準レセプトソフトの患者データや薬剤データを参照し、薬剤在庫の一覧や、薬剤使用患者一覧などを帳票や画面に出力するソフトです。本書は、日医標準レセプトソフトがインストールされているLinuxマシンに本ソフトをインストールする方法、および本ソフトの旧バージョンがインストールされているマシンをバージョンアップする方法を記述したものです。

システム概要

本ソフトの動作におけるシステム概要を、図1に示します。

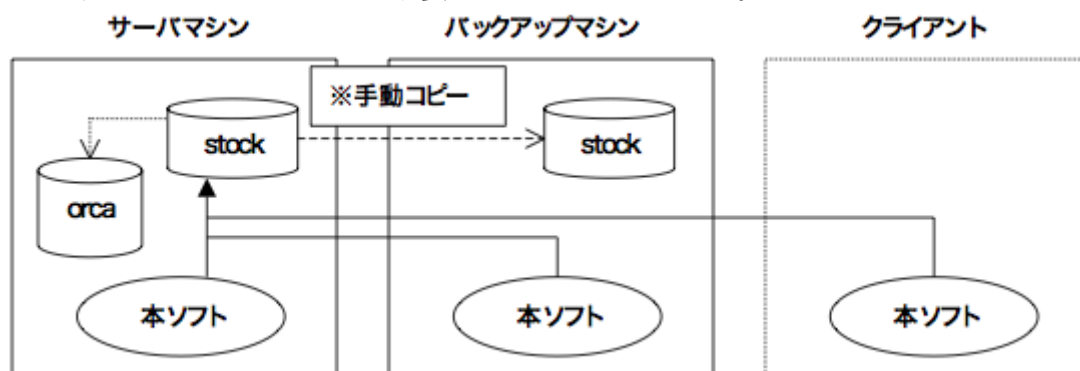


図1. システム概要

- 本ソフトのDB名、およびそのユーザ名を” stock” とします。
- 「サーバマシン」と「バックアップマシン」の2台が基本構成です。
- この2台に、複数台の「クライアントマシン」を接続することが可能です。
- 「サーバマシン」では、自身のstockDBを読み、動作します。また、自身のorcaDBから診療行為データを参照します。
- 「バックアップマシン」および「クライアントマシン」では、「サーバマシン」のstockDBを読み込み、動作します。
- データバックアップは「サーバマシン」から「バックアップマシン」へ、ソフト上から手動で行います。日レセのように、データの逐次二重化は行っておりませんので、ご注意ください。
- 帳票が印刷されるプリンタ名は、端末ごとに設定します。

諸注意

インストール手順、バージョンアップ手順、両方に共通する諸注意を記述します。

作業ユーザ

作業ステップの開始時とくに指定がない場合は、現在ログインしている一般ユーザの権限で作業を行います。他のユーザ権限に変更する必要がある場合は、それぞれ指示がありますので従ってください。

コマンド

以下の手順の中で、コマンドを実行する箇所として、次の場合があります。

\$ <コマンド> 一般ユーザのプロンプトでコマンドを入力します。

<コマンド> スーパーユーザのプロンプトでコマンドを入力します。

他に、コマンド実行中に、入力を促される場合があります。指定に従って、入力を行ってください。

圧縮ファイルの内容

本ソフトの圧縮ファイルの内容は、以下のとおりです。

```
stock — DB — (command_ver0315.txt)
              — (command_ver0318_etch.txt)
              — (command_ver0318_sarge.txt)
              — stock_first.dump (EUC-JP)
              — stock_first.dump.euc-jp
              — stock_first.dump.utf-8
              — convu8.rb
              — readme.txt
— ap — orca.properties
      — printer.properties
      — stock.jar
— data — <作業用ディレクトリ>
— frm_(46,47) — stocklist1.red
               — stocklist2.red
               — stocklist2_1.red
               — stocklist3.red
               — stocklist4.red
               — stocklist5.red
               — stocklist5_sum.red
               — stocklist6.red
               — stocklist_common.red
               — stocklist_dead.red
               — stocklist_invent.red
               — stocklist_sum.red
— med_stock.png
— stock.sh
— create_desktop.sh
— version.txt
```

設定ファイルの内容

本ソフトの設定ファイルの内容は、以下のとおりです。
また記述例では、IPアドレスを以下のようにしています。
サーバマシン：127.0.0.1
バックアップマシン：192.168.1.20

```
# Use UTF-8
#print_charset=UTF-8
#csv_charset=UTF-8

# Use EUC-JP
print_charset=EUC-JP
csv_charset=EUC-JP

#日レセ接続ユーザ名
orca_sysuser=ormaster

#サーバマシンの薬剤 DB ユーザ、パスワード、IP アドレス
stock_user=stock
stock_pass=stock
stock_ip=127.0.0.1

#バックアップマシンの薬剤 DB ユーザ、パスワード、IP アドレス
stock_bk_user=stock
stock_bk_pass=stock
stock_bk_ip=192.168.1.20

# ORCA 運用マシンのユーザ、パスワード、IP アドレス
orca_user=orca
orca_pass=orca
orca_ip=127.0.0.1

#締日 99 は月末締め 以外開始日付を設定
#例 14 日は 14～次月の13まで 1日以上を必ず設定。
#日は、2桁で入力する。
stock_close_day=99

#単価計算方法 0：単価入力、1：割戻し計算
stock_unit_price_calc=1

#単価種別 0：最新単価、1：平均単価
stock_unit_price_tana=0

#小数点以下の処理 2桁まで表示：0 四捨五入：1
down_to_decimal=0

#画面表示・帳票の順番 品番順：0 カナ名順：1
stock_med_order=1

#デッドストックリスト出力の対象とする未在庫期間（単位：月）
dead_stock_month=3

#平均在庫単価の集計開始月
shukei_start_month=4

#初期薬剤 CSV ファイル読み込み時のログ保存パス
CSV_init_input_log=/tmp

#帳票 CSV ファイル出力パス
CSV_output_path=/tmp
```

#初期設定項目表示 なし:0 あり:1
maintenance_mode=0

#院内／院外診療種別区分

in_srykbn=211, 221, 231, 291, 310, 311, 312, 320, 321, 330, 331, 340, 401, 501, 541, 601, 701
out_srykbn=148, 149, 212, 222, 232, 292

#テストユーザ取り込み 取り込まない:0 取り込む:1
test_usermode=0

日レセ接続ユーザ名

設定ファイルの日レセ接続ユーザ名について記述します。

orcaDB4.0以降のグループ診療に関するDB構造に対応しました。

日レセで設定してあるユーザ名を指定することによって、stockDB上で各医療機関のデータを個別に扱います。

```
#日レセ接続ユーザ名  
orca_sysuser=ormaster
```

拡張漢字対応(DB UTF-8)

設定ファイルに今回追加されている、エンコーディング設定について記述します。

orcaDBのEncodingがUTF-8の場合は以下に設定します。

```
# Use UTF-8  
print_charset=UTF-8  
csv_charset=UTF-8
```

- * 印刷データの拡張漢字対応
- * CSVデータの入出力がUTF-8
- * orcaDBが対応している必要がある

orcaDBのEncodingがEUC-JPの場合は以下に設定します。

```
# Use EUC-JP  
print_charset=EUC-JP  
csv_charset=EUC-JP
```

- * 印刷データは従来と変更無し
- * CSVデータの入出力はEUC-JP
- * 従来通りの連携

インストール手順

本ソフトを新規にインストールする手順を記述します。

Java のインストール

別紙 Java インストール手順書をもとに、Java をインストールします。

リソースファイルのコピー・展開

リソースファイルを、日医 ORCA プロジェクトの「薬剤在庫管理ソフト更新履歴」ページからダウンロードします。

ファイルは、cdrom_v0332.tgz (tgz 形式) と cdrom_v0332.zip (zip 形式) があります。ダウンロードしたリソースファイルを適当なディレクトリで解凍してください。

リソースファイルを解凍してできたファイルのうち、stockV[バージョン].tgz をホームディレクトリにコピーします。

[バージョン]の部分は、ソフトのバージョンにより異なります。

```
# cp [解凍先ディレクトリ]/cdrom/stockV[バージョン].tgz [ホームディレクトリ]/
```

一般ユーザで、ソフトの圧縮ファイルを解凍します。

```
$ tar zxvf [ホームディレクトリ]/stockV**.tgz
```

stock ユーザ・DB の作成(サーバ&バックアップ)

※ この過程は、サーバマシン、バックアップマシンのみ必要です。
本ソフトで使用する DB と、そのユーザを作成します。

stock ユーザを追加

スーパーユーザに変更します。

```
$ sudo -i
```

stock ユーザを追加します。

```
# adduser stock  
ユーザ `stock' を追加しています...  
新しいグループ `stock' (1004)を追加しています...  
新しいユーザ `stock' (1004)をグループ `stock' に追加しています...  
ホームディレクトリ `/home/stock' を作成しています...  
`/etc/skel' からファイルをコピーしています...
```

上記の 1004 の部分はそれぞれ値が異なる場合があります。

続いて、次のようなメッセージが表示されます。stock ユーザのパスワードを入力してください。

```
新しい UNIX パスワードを入力してください:
```

再度、同じパスワードを入力してください。

```
新しい UNIX パスワードを再入力してください:
```

```
passwd: パスワードは正しく更新されました
```

引き続き、ユーザー情報の入力を要求されますが、動作には影響しないので内容は任意です。とくに指定する内容がないなら、空欄のままでかまいません。

```
stock のユーザ情報を変更中  
新しい値を入力してください。標準設定値を使うならリターンを押してください  
フルネーム []:  
部屋番号 []:  
職場電話番号 []:  
自宅電話番号 []:  
その他 []:
```

最後に YES の意味で” y” と入力し、ユーザー登録を終了します。

```
以上で正しいですか? [y/N] y
```

postgres ユーザに、stock ユーザを追加

Postgres ユーザで、stock ユーザを追加します。

```
# sudo -u postgres createuser stock -P -d -r
```

オプション -P でパスワードも設定し、確認のため2度入力します。

```
Enter password for new role:  
Enter it again:
```

stock 用の DB を作成

DB を作成します。以下のように入力してください。

```
# sudo -u stock createdb -lC -Ttemplate0 -EEUC-JP stock
```

初期データ入れ込み(サーバ&バックアップマシン)

※ この過程は、サーバマシン、バックアップマシンのみ必要です。
初期データを、本ソフトに入れ込みます。

以下のコマンドで、初期データを本ソフトに入れ込みます。

```
# sudo -u stock psql -e stock < [ホームディレクトリ]/stock/DB/stock_first.dump
```

この時、日レセのDB データ取り込みの際と同様のエラーが表示されますが、問題はありません。

設定ファイルの編集

設定ファイル[ホームディレクトリ]/stock/ap/orca.properties をエディタで開き、編集します。

また、帳票出力プリンタの設定は、本ソフトの「プリンタ設定」により行ってください。

PostgreSQL の設定

※ この変更は、日レセの主従 DB 二重化設定と同じです。

orcaDB にパスワードを設定

スーパーユーザに変更し、postgres ユーザに変更します。

```
$ sudo -i
```

psql コマンドで管理用の template1 を開きます。

```
# sudo -u postgres psql template1
```

ここでパスワードを任意で決めてください。ここでは分かりやすいよう、'orca' と記述します。

```
template1=# ALTER USER orca password 'orca';
```

成功すると、以下のメッセージが表示されます。

```
ALTER ROLE
```

psql コマンドを終了します。

```
template1=# \q
```

PostgreSQL の設定変更

スーパーユーザに変更します。

```
$ sudo -i
```

/etc/postgresql/9.3/main/pg_hba.conf を編集します。

```
host all all 127.0.0.1/32 md5
```

を、次のように追記します。

例は、インストールマシンの IP アドレス : 192.168.1.10、ネットマスク : 255.255.255.0 の場合です。

```
host all all 127.0.0.1/32 password
```

```
host all all 192.168.1.0/24 password
```

/etc/postgresql/8.4/main/postgresql.conf を編集します。

```
# listen_addresses = 'localhost'
```

を、次のように書き換えます。この設定項目は通常コメントアウトになっています。例は上記とすべてのネットワークでの利用となります。

```
listen_addresses = '*'
```

編集した場合は、編集後に、postgresql を再起動してください。

```
# service postgresql restart
```

実行シェルスクリプトの修正

[ホームディレクトリ]/stock/stock.sh を一般ユーザで編集します。

```
#!/bin/bash
```

```
java -cp [ホームディレクトリ]/stock/ap/stock.jar drugstock.cl DrugStock
```

[ホームディレクトリ]の部分をも、環境に合わせて修正してください。

動作確認

以下コマンドによりソフトを起動することができます。
まずは、このコマンドで、一度動作確認をしてください。

```
$ sh [ホームディレクトリ]/stock/stock.sh
```

“薬剤在庫管理システム ver*.* [メニュー]” ウィンドウが表示されれば、正常に動作しています。

起動ボタンの作成

ユーザのデスクトップへ起動ボタンを作成します。
stock/create_desktop.sh を実行します。

```
$ sh $HOME/stock/create_desktop.sh
```

“薬剤在庫管理システム” とデスクトップ上にアイコンが表示されます。
作成されたデスクトップアイコンから起動を確認してください。

バージョンアップ手順

DB のバックアップ

念のため、現在のデータをバックアップします。
stock ユーザに変更します。

```
$ su - stock
```

以下のコマンドで、現在のデータを退避します。「-0」の0はアルファベットのオーです。

```
$ pg_dump -0 stock > stock_[バージョン]_[日付].dump
```

```
[例] $ pg_dump -0 stock > stock_v0100_20040616.dump
```

設定ファイルのバックアップ

現在の設定ファイルを退避します。(必須)
一般ユーザで、以下のコマンドで実行します。

```
$ cp stock/ap/orca.properties orca_oldproperties  
$ cp stock/ap/printer.properties printer_oldproperties  
$ cp stock/stock.sh stock_old.sh
```

ソフトの入れ替え

旧ソフトをリネームします（正常動作確認後、任意で削除します）。
一般ユーザで、以下のコマンドを実行します。

```
$ mv stock stock_[バージョン]_[日付]
```

```
[例] $ mv stock stock_v0100_20040616
```

続いて、新規ソフトを日医 ORCA プロジェクトの「薬剤在庫管理ソフト更新履歴」ページからダウンロードし、展開します。
ファイルは、ホームディレクトリ下に展開してください。

DB のバージョンアップ

※ DB バージョンアップは、**行う必要がない**場合があります。
バージョンアップ要件をご確認ください。
新規インストール時は DB バージョンアップは必要ありません。

stock ユーザに変更します。

```
$ su - stock
```

以下のファイルをコピーし、実行します。

```
stock$ psql -f [ホームディレクトリ]/stock/DB/command_ver****.txt stock
```

v3.17 以下から、最新版にバージョンアップする場合は StockDB のバージョンアップが必須となっています。

例： v3.14[Etch]から v3.21[Hardy]への DB アップグレード

```
stock$ psql -f [ホームディレクトリ]/stock/DB/command_ver0315.txt stock
stock$ psql -f [ホームディレクトリ]/stock/DB/command_ver0318_etch.txt stock
```

例： v3.17[Etch]から v3.21[Hardy]への DB アップグレード

```
stock$ psql -f [ホームディレクトリ]/stock/DB/command_ver0318_etch.txt stock
```

例： v3.20[Etch]から v3.21[Hardy]への DB アップグレード

```
DB のアップグレードは必要ありません。
```

例： v3.18[Sarge]から v3.21[Hardy]への DB アップグレード

```
DB のアップグレードは必要ありません。
```

DB の拡張漢字対応[UTF8]

stockDB のエンコーディングを UTF8 に変換します。

UTF8 の DB を利用する場合は、以下の URL から convu8.rb をダウンロードし実行します。
オプションを忘れずに付けたうえ実行してください。

```
URL: http://www.orca.med.or.jp/receipt/use/jisx0213/#download
```

変更時は以下の参考にしてください。

```
URL: http://www.orca.med.or.jp/receipt/use/jisx0213/#convert
```

初期 DB

UTF-8 利用時の初期 DB 作成時に stock_first.dump.utf-8 を利用してください。
エンコーディング変更処理は必要ありません。
EUC-JP のダンプファイル利用時は変更の必要があります。

エンコーディング変更

チェック時に問題が出ない場合、コンバートを実行してください。

* チェック

```
$ ruby ./convu8.rb -t -d stock -b stock_backup
```

* コンバート

```
$ ruby ./convu8.rb -d stock -b stock_backup
```

* オプション詳細

```
$ ruby ./convu8.rb --help
```

設定ファイルの変更

退避した3ファイルを元に戻して編集します。

```
orca_old.properties  
printer_oldproperties  
stock_old.sh
```

設定ファイル[ホームディレクトリ]/stock/ap/orca.properties をエディタで変更が必要な場合は修正してください。

また、帳票出力プリンタの設定は、本ソフトの「プリンタ設定」により行って確認してください。

実行シェルスクリプトの修正

[ホームディレクトリ]/stock/stock.sh を一般ユーザで編集します。

```
#!/bin/sh  
  
java -cp [ホームディレクトリ]/stock/ap/stock.jar drugstock.cl DrugStock
```

[ホームディレクトリ]の部分を、環境に合わせて修正してください。

動作確認

以上で、バージョンアップ処理は終了です。

バージョンアップが正常に終了していれば、旧バージョンを起動していたアイコンから新バージョンのソフトを起動することができます。

正常動作確認後、任意で旧ソフトを削除します。バックアップ用に保存しておくことも可能です。

旧ソフトを削除するには、一般ユーザで以下のコマンドで実行します。

```
$ rm -r stock_[バージョン]_[日付]  
  
[例] $ rm -r stock_v0100_20040616
```

旧バージョンの復旧

万が一、新バージョンへの移行後、どのような対処を行っても正常動作が見込まれない場合、暫定処置として旧バージョンを復旧する手順を示します。

（新バージョンが動作しない場合には、お問い合わせください）

まず、新ソフトを削除し、旧ソフトを復旧させます。

```
$ rm -r stock  
  
$ mv stock stock_[バージョン]_[日付]  
  
[例] $ mv stock stock_v0100_20040616
```

次に、DB を旧バージョンに戻します。stock ユーザに変更します。

```
$ su - stock
```

以下のコマンドで、DB を削除、復旧させます。

```
stock$ dropdb stock  
  
stock$ createdb -lc -Ttemplate0 -EEUC-JP stock  
  
stock$ psql -e stock < stock_v0100_20040616.dump
```

FAQ

Q1. ソフトを起動しても、ウィンドウが表示されない

A1. Java が正常にインストールされているか、確認してください。
stock ディレクトリが home に存在するかどうか、確認してください。
各設定に誤りがないか、確認してください。
詳細なログが表示されるのでターミナルから起動して、確認してください。

Q2. ソフトの操作中に、小さなウィンドウが表示される

ソフトの操作中に、図 2 のような小さなウィンドウが表示される。
または、図 3 のような DB 接続異常メッセージが表示され、ソフトが終了する。



図 2. エラー：DB 接続異常メッセージ(stockDB, BackupDB)

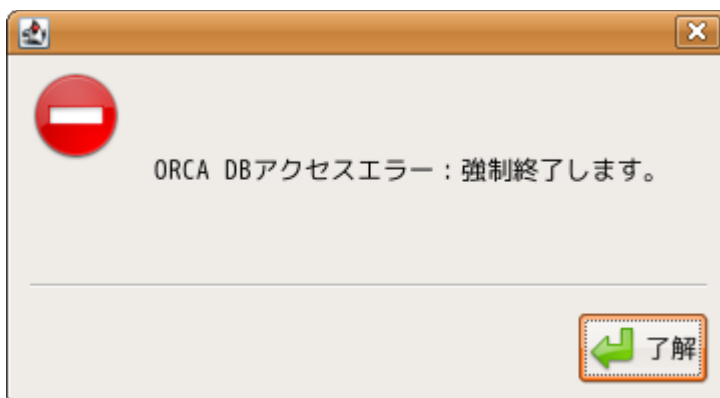


図 3. エラー：DB 接続異常メッセージ (orcaDB)

A2. DB への接続設定が正常かどうか、確認してください。

→ 設定ファイルの内容：IP アドレス設定

→ stock ユーザ、DB の作成

→ Postgresql の設定

Q3. アイコンをクリックしてもソフトが起動しない

コマンドからのソフト起動は正常だが、アイコンをクリックしてもソフトが起動しない。

A3. 起動ボタンの設定が正常かどうか、確認してください。

→ 起動ボタンの作成

Q4. 文字が正常に表示されない

ソフトを起動すると、図4のように文字が□で表示される。

または、文字が表示されない。

図4. エラー：文字が□になるウィンドウ

A4. フォントの設定が適切かどうか、確認してください。

→ Java インストールマニュアル、文字化けについてを参照

Q5. 一部画面の描画がおかしい

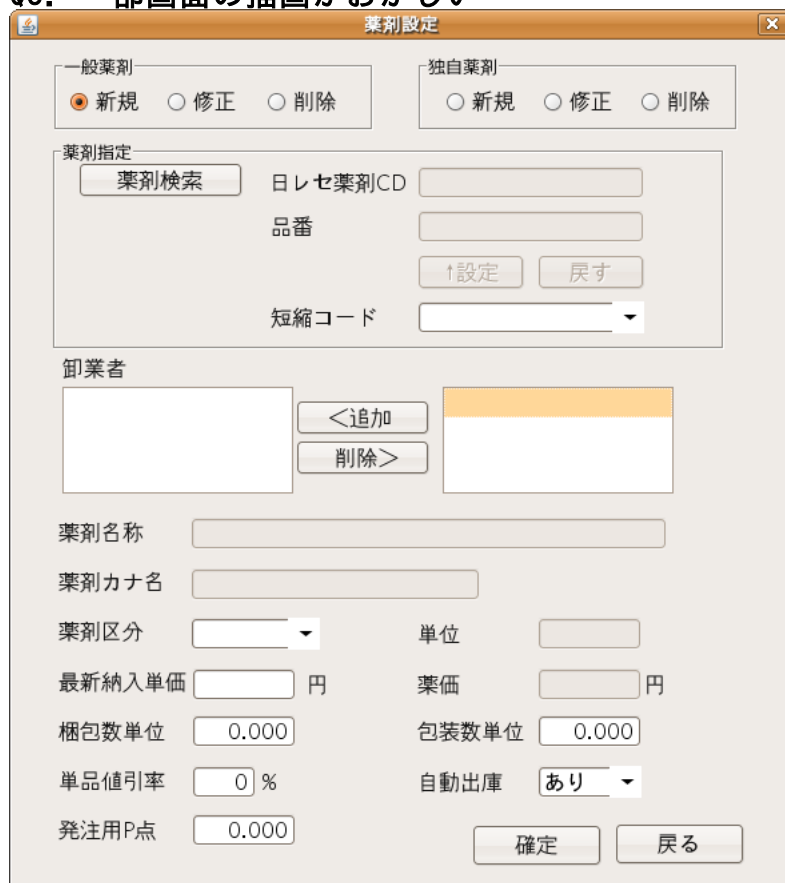


図5. 画面表示：ComboBox の描画が正常ではない

A5. LaF を変更することで対応可能です。